

# 平成 26 年度教育計画（言語聴覚療法部門）

## 基本方針

- セラピスト個々の目標を尊重し、専門職業人としての成長を支援する
- 利用者の多様なニーズに対応するため、計画的に研修会等に参加し、そこで得られた新しい知識や技能を、速やかに部内に伝達、共有する。
- 効率的なチームアプローチができるよう、部門間の垣根を越えて学術的な交流を図る。
- 各セラピストが担当分野を持ち、専門性を高めることも必要だが、誰かが病気や出産等様々な理由で長期離脱する場合でも、他のスタッフがフォローできる体制を整える。（表 1）

## 中期目標

- 日本言語聴覚士協会の認定言語聴覚士（失語・高次脳機能障害領域、摂食嚥下障害領域、言語発達障害領域）を養成する
- 当事者団体からの要望が強い、吃音に対する言語聴覚療法を実施するための基盤をつくる

表 1

分野	成人	小児
失語症、高次脳機能障害	藤谷、清水、秋田、曾山、水野、 飴谷、小渡	
構音障害	藤谷、清水、秋田、曾山、水野、 飴谷、小渡	松下真、秋田、曾山、水野、飴谷、 小渡
摂食嚥下障害	藤谷、清水、秋田、曾山、水野、 飴谷、小渡	松下真、秋田、曾山、水野
言語発達遅滞		松下真、秋田、曾山、水野、飴谷、 小渡
吃音	秋田	秋田、松下真
聴覚障害	藤谷、飴谷、小渡	飴谷、小渡

※網掛はリーダー

## 学術活動

定期的開催され、参加が推奨される活動

### 勉強会

- ・ 奈良県言語聴覚士会主催の勉強会（12 回／年）
- ・ リハビリテーション科内の勉強会（随時）

## 症例検討会

- ・ 奈良県言語聴覚士会主催の症例検討会（1回／年）
- ・ 部門内症例検討会（6回／年）

## 研修会その他

- ・ 奈良県言語聴覚士会主催の研修会（2回／年）

## セラピスト個人で参加する活動

### 部門内教育活動

各セラピストが年度ごとに学術的なテーマを持って活動し、必要に応じて指導者を配置する（表2）

表2

	分野	指導者
飴谷	言語発達遅滞、聴覚障害	松下真、藤谷
小渡	言語発達遅滞、聴覚障害	松下真、藤谷
水野	高次脳機能障害、摂食嚥下障害	
曾山	言語発達遅滞、摂食嚥下障害	
秋田	言語発達遅滞、吃音	
松下真	言語発達遅滞、摂食嚥下障害、吃音	
柴岡	高次脳機能障害、摂食嚥下障害	
藤谷	高次脳機能障害、摂食嚥下障害	

## 学会、研修会参加

定期的に機関誌、雑誌を発行している団体が主催する、学会や研修会を優先的に選択する。（表3）  
構音障害や摂食嚥下障害といった神経生理学の分野では、リハビリテーション科全体のテーマである「ニューロリハビリテーション」、失語症をはじめとする高次脳機能障害の分野では「認知神経心理学」など、テーマに沿った内容の学会、研修会への参加意思を示し、部門内での承認を得る。

- ・ 言語発達関連
- ・ 聴覚障害、補聴器関連
- ・ 摂食嚥下障害関連
- ・ 高次脳機能障害関連
- ・ 音声言語機能関連
- ・ その他、言語聴覚療法に関連するもの

表3

臨床経験	3年未満	10年未満	10年以上
研修会	各種基礎コースに参加	各種専門コースに参加	左記に加え、マネジメント等の研修など
学会	全国レベルの学会に参加		